

# 夢 塾 だ よ り

## ～ 愛読書の恩恵 「与える」 ～

(第 59 号) 令和 4 年 6 月 25 日



松下幸之助さんが創った「PHP」という月刊誌を定期購読して 25 年くらいたちました。100 ページくらいで、薄く、小さく、持ちやすく、値段も安い (250 円)。家に届いたら 2～3 日で読んでしまいます。豊かに楽しく生きるためのヒントが満載です。今月号 (7 月号) の裏表紙にこう書かれていました。

### 与える

心豊かな人は与えることが日常だとはいえないか。人に会えば自分から会釈をするしあいさつもする。時にはしゃれたひと言で場を和まし、周りに元気を与える。悩める人に寄り添い勇気を与える。人の支援にも躊躇 (ちゅうちょ) することがない。泉のごとくではないが、与えるほどに心の余裕をもち、ムダとか損するという感覚とは無縁な人。それは感謝の心にみたまされているから? 上機嫌のおすそわけ? 人の役に立ちたい無償の心からだろうか。

・・・ふれあいが減り、人と人との距離は遠くなりがちだ。つい自分を守り、自分を利することに傾いてしまう。だからこそ、一人の人間として与える人でありたい。ともにこの世を生きる、遠くの人にも手を差し伸べられる、そんな人に。

私は 50 歳を過ぎたあたりから心がけたことがあります。

それは 「GIVE AND TAKE」 ではなく 「GIVE AND GIVE」 そんな生き方ができる大人になりたいと。校長講話でも生徒たちにこう言いました。人間 20 歳までは 「TAKE AND TAKE」 21 歳から 50 歳までは 「GIVE AND TAKE」 そして 50 歳を過ぎたら 「GIVE AND GIVE」 の精神で人生を過ごしてくださいと。

あのアインシュタインの言葉です。

人間の価値はその人が得たものではなくその人が与えたもので決まる。と。

与那覇健勇の「与」は与えるです。「余裕」も大事です。私の名前も略して「与勇」です。PHP の裏表紙の言葉は私への最大の示唆と賛辞のように思えました。

ありがとうございます。

